

ゲイツ財団による補助金と ロータリーによる同額寄付

「ロータリーは、今、ロータリーの歴史に残る時を迎えました。私たちの最優先目標である「ポリオのない世界」の実現に向け、必要とされている米貨2億ドルを提供するために、国際ロータリーとビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団が新しく協同関係を結びました」

— 国際ロータリー会長、ウィルフリッド J. ウィルキンソン

「ロータリー会員の並々ならぬ努力が、ポリオ撲滅にあと一步というところまで来る過程で極めて重要な役割を果たしました。ポリオの撲滅は、公共保健の分野において歴史上最も重要な偉業となるでしょう。この目標を果たすために、私たちは全力を投入しています」

— ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団、ビル・ゲイツ

この補助金の条件

ゲイツ財団はロータリー財団に対し、1億ドルの補助金を提供し、これを受けてロータリーが今後3年間でこれと同額を組み合わせてポリオ撲滅に寄付することになりました。これは、ボランティア奉仕団体に提供された補助金としては史上最高額であり、私たちのポリオ・プラス・プログラムでのアプローチと成功が大きく認められたことを物語るものです。

国際ロータリー理事会とロータリー財団管理委員会は、撲滅目標実現に資金投入が必要不可欠とされるこの時期に提供された、同額の組み合わせを求める今回の補助金の申し出を受け入れることに、全会一致で同意しました。このため最初の1億ドルは、2008年のポリオ予防接種活動を直接支援するために、ロータリー財団によって、世界保健機関およびユニセフを通じて支給されることになります。

ロータリーは、2008年1月1日より3年間にわたって1億ドルの新しい資金を調達することを約束し、ゲイツ財団からの同額組み合わせの補助金の申し出に応えました。このロータリーによる新ポリオ・プラス募金活動は、2008年7月1日より正式に開始され、2010年12月31日までに完了する予定です。

ポリオ撲滅にさらなる資金が必要とされる理由

2007年2月に開催されたポリオ撲滅全関係者の協議において、世界保健機関事務局長は、撲滅の目標を実現するには撲滅活動への追加資金の投入が緊要であることに言及しました。過去数年間にわたり、ポリオ常在国、リスクの高い国、ウイルス流入国における補助的な予防接種の実施回数を追加したことによって、ポリオ撲滅活動はさらに活発になりました。インドを例に挙げると、地域によってはほとんど毎月予防接種活動が実施されており、1回ごとに何千万人もの子供たちを対象としています。こういった追加活動を支えるためには、当然、追加の資金や人材が必要となります。

1985年、ロータリーは、ポリオの脅威から世界中の子供たちを解放すること約束しました。そして今、私たちはその寸前まで来ています。ロータリーとゲイツ財団による今回の資金提携は飛躍的な前進をもたらし、ポリオ撲滅という私たちの最終目標の実現へとさらに近づけてくれるものとなるでしょう。技術的な手段が既に整っている今、私たちはこの仕事を完遂しなければならないのです。

「ゲイツ財団補助金によって可能となったこうした資金は、予防接種を最も必要とする孤立した地域の子供たちへの経口ポリオワクチンの投与など、世界ポリオ撲滅推進計画の活動をさらに拡大していく上で役立つものです」

— ユニセフ事務局長、アン・ベネマン

「ロータリーとゲイツ財団のこの共同での取り組みが、ほかの財団や各国政府、非政府組織をはじめとする寄付者に対しても、ポリオの根絶に必要なリソースを確保するために立ち上がるよう、奮起を促すものとなることを願っています」

— ロータリー財団管理委員会、ロバート S. スコット委員長

ポリオ撲滅の進捗状況

ポリオ撲滅に向けての進捗には、現在も目覚ましいものがあります。1985年にロータリーがポリオ・プラス・プログラムを開始して以来、ポリオの症例数は99パーセント減り、ポリオ常在国の数は125カ国余りから、2006年末のわずか4カ国にまで減少しました。2007年の世界的なポリオの症例数は、2006年より推定50パーセント減となることを見込まれています。残されたポリオ常在4カ国（インド、ナイジェリア、パキスタン、アフガニスタン）においても、野生ポリオウイルスが蔓延しているのは非常に限られた地域のみです。

ロータリー・クラブとロータリアンに求められる支援

この活動を成功させるには、ロータリー・クラブならびにロータリアンの皆さまからのご支援が極めて重要です。各クラブには、今後3年間、毎年1,000ドルを目標とする募金活動を実施するよう呼びかけられています。

会員一人ひとりも、個人的にこの運動に参加するよう呼びかけられています。ロータリーの優先的プログラムであるポリオ・プラスに参加したことのない新しいクラブや会員には、特に参加が奨励されています。現在、ゲイツ財団からの補助金への同額組み合わせを達成するための具体的な計画が立てられており、数カ月後には地区ガバナー・エレクトに詳細をお伝えできる予定です。

「政府団体として、私たちは、民間組織がポリオ撲滅のような重要な活動において主導的役割を担うことはとても素晴らしいと思います。こうした民間組織からの協力を欠かすことはできません」

— 米国疾病対策センター局長、ジュリー・ガーバーディング

ポリオ撲滅活動へのほかの資金提供者

ゲイツ財団とロータリーによるこのような並々ならぬ決意は、ポリオのない世界という夢の実現に向けて、ほかの団体や人々からのさらなる寄付をもたらす火付け役となりうるものです。海外の援助国は引き続きポリオ撲滅へ支援を提供すると見込まれていますが、マラリア、HIV・エイズ、結核といったほかの公共保健問題へ向けられる資金との競争が激しくなっているのも事実です。ゲイツ財団は、ロータリーとの関係における重要な活動の一環として、ポリオ撲滅の提唱を支援することに同意しました。

「今回の資金投入は、ポリオに最後のとどめを刺すための集中活動を行う上で私たちが必要とする、まさに起爆剤だと言えます。撲滅の道具は揃っています。あとは、財政的な支援者の方々がこのチャレンジのために立ち上がってくれるなら、ポリオのない世界は必ず実現します」

— 世界保健機関事務局長、マーガレット・チャン博士



詳細については、国際ロータリー世界本部のポリオ・プラス担当課までお問い合わせください。
電話：1-847-866-3305 ファックス：1-847-866-0269 Eメール：polioplus@rotary.org
www.rotary.org